

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 30日

事業所名:放課後等デイサービス みんなのき とわ

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3		・定められたスペースは確保しているが、子どもの様子や、保護者対応が入った際に、部屋の確保が難しい事がある。そのような場合には、職員間で連携を取り、スケジュールを工夫しながら対応している。	・定められたスペースは確保しているが、子どもの様子や、保護者対応が入った際に、部屋が足りないことがある。その為、職員間の連携やスケジュールを工夫すると共に、パーテーションなどで部屋を仕切る等して改善を行って行く。
	2 職員の配置数は適切であるか	3		・子どもの気持ちの崩れや、通って来ている子どもの発達状況によって、対応し難い事がある。そのような時は、職員間で連携を図ったり、子どもの組み合わせを工夫しながら行っている。	・最低基準以上の職員体制で行っているが、子どもの様子に応じて対応し難い事がある。子どもの動きを予測し、その日の職員配置を決める力を高める事で改善を図っていく。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		3	・段差をなだらかにし、行動しやすくする為、斜面を付ける等の工夫を行っている。 ・また車いすを購入し配置している。	・段差や階段が多く、バリアフリーに関しては課題が多い。段差に斜面を付けるなど、子どもの行動から予測される環境への工夫を常に考える事で改善を行っていく。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3		・朝の会議や活動後の反省会、活動計画を立てる際に、PDCAサイクルを元に話しあうようにしている。また先輩からPDCAサイクルを投げかけるようにしている。	・朝の会議や活動後の反省の時間に、PDCAサイクルを元に話し合っていく。 ・また誰もがこのPDCAサイクルへの意識を持てるように、職員間で言い合いながら意識を高めていく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3		・保護者のアンケートを職員間で回し読み、誰もが意識して行動出来るようにしている。	・保護者からの意向を常に意識するため、毎年アンケートを実施する。 ・報告や個別面談、連絡帳のコメントを大事にし、把握、改善に繋げていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3		・保護者の待機場所に結果を掲示していると共に、ホームページで公表している。	・2021年度よりホームページでの公表を行っている事を、保護者に口頭や書面などで広めていく。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3		・前回同様、事業所としては第三者評価は受けていないが、法人として受診しておりその際に自己点検や改善点の共有などを行っている。	・法人における第三者評価などの機会を生かしつつ、外部からの意見を受ける機会を作っていく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3		・リモートの研修でスキルアップを行ない、全体の会議で研修の内容を発表して共有している。	・引き続きリモートの研修に参加する。
9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3		・保護者への報告や連絡帳でのやり取り、活動後に振り返りの時間をとり計画の作成を行っている。 ・日々の行動観察を元に、定められた様式に児童の様子を記入し、計画の作成を行っている。	・現在行っている事を引き続き行う。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	2	・新版K式発達検査などのアセスメントシートを目安に行動を見る事がある	・引き続き、新版K式発達検査などのアセスメントシートを活用する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	1	2	・担任が行っている。 ・活動後の振り返りで、様々な職員のアイデアを、プログラムの立案に取り入れ、活動へ繋げている。	・様々な職員と意見を交換をして交流を持てるようにする。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3		・活動後の振り返りの時間に出たアイデアを参考に次の活動内容を考えている。 ・運動、制作、ゲーム遊びなど、複数の種類の遊びを取り入れている。また季節の行事を取り入れる。	・引き続き職員間で活動の内容を吟味し、振り返りで出た意見も参考にプログラムを立てていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3		・長期休暇には川へ行く事や、夏祭りをする等、特別なプログラムが組んでいる。	・長期休暇で特別な思い出が作れるように配慮していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3		・個々の狙いに応じて、個別や集団の活動を前もって組むと共に、当日の子どもの様子に応じて関わり方を変更している。	・引き続き個々のねらいに応じて、個別活動や集団活動を組み合わせて行っていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3		・活動前に打ち合わせの時間を設け、ポイントとなる関わりを伝えている。	・引き続き活動前の打ち合わせを行っていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3		・療育終了後に必ず振り返りの時間をとっている。 ・振り返りで出た内容をパソコンへ打ち込み、職員間であれば誰でも見られるようになっている。	・引き続き振り返りの時間を設け、出た内容をパソコンへ打ち込み、職員が見られるようにする。 ・重要なことに関しては、朝の会議で改善点や支援方法を確認し合う事で職員間で共有する事へ繋げる。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3		・システムが確立されており、子どもの記録を打つ事や、支援の検証、改善に繋がるようになっている。 ・新版k式発達検査を参考とした子どもの発達を捉える項目表があり、それになって子どもを見ている。	・引き続き子どもの様子をシステムへ打ち込むと共に、振り返りを行い、支援の検証や改善を行う。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3		・半年ごとに個別支援計画の作成を行う事で振り返りや計画の見直しを行っている。 ・相談支援事業所における半年毎のモニタリングなどを契機に、課題の見直しをしている。	・引き続き半年ごとに個別支援計画の作成を行うと共に、相談支援事業所における半年毎のモニタリングを参照し、見直しを行っていく。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	3		・ガイドラインに示された、自立支援、創作、余暇活動を取り入れている。	・引き続きガイドラインの総則の基本活動を意識しながら取り組む。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	1	2	・担任や親時間担当が参加している。 ・現状、サービス担当者会議としての連携は限られているが、施設長と該当児童の担当者がやり取りをするように配慮している。	・引き続き子どもの状況に精通した、最もふさわしい担任や親担当の職員がやり取りを行っていく。
	21	3		・年間予定や月間予定に関しては保護者から情報を頂いている。	・下校時間や、特に通常とは異なる長期休みの情報を、保護者から収集出来るように、より啓蒙していく。
	22	1	2	・担当医の診断書を保護者から預かり、医師の診断に応じたプログラムを行っている。	・現在行っていることを引き続き行う。
	23	3		・児童発達支援事業所が作成した個別支援計画を参照すると共に、必要な時にはやり取りを行い情報共有を行っている。	・現在行っていることを引き続き行う。
	24	1		・保護者からの依頼があった場合に動ける体制はとっているが、現状障害福祉サービスへの移行の事例がない。	・保護者からの依頼があった場合に動ける体制はとっている。依頼があった場合には対応していく。
	25	1	2	・必要に応じて専門機関と書面やリモート、電話で話し合いの場を設けやり取りを行っている。	・必要に応じて専門機関と連携を取って行く。
	26		3	・個人情報保護の観点から行っていない。	・引き続き個人情報保護のを大切に ・個人情報を保護しながら交流を持てる機会があれば行う。
	27	3		・様々な協議会やネットワークサービス事業へ参加している。 ・行政の主催する連携会議や、ネットワーク会議に法人として出席している。	・引き続き積極的に参加して行く。
	28	1	2	・只今コロナの為報告などが簡略化して取れない現状であるが、連絡ノートでのやり取りや電話での連絡等を通して、共通理解を図っている。	・引き続き、連絡帳でのやり取り、半年に一度の個別面談を通して共通理解を図っていく。
29	3		・只今コロナで行えていないが月に1回親時間(保護者が集まって悩んでいる事を話し合ったり、保護者同士でアドバイスし合ったり、必要に応じて職員の知っている知識を伝える会)を設けている。 ・半年に一度の個別面談や活動後の報告等でやり取りする事で対応力の向上を図っている。	・コロナ対策を行いながら、親時間再開を目指す。 ・引き続き、半年に一度の個別面談や日々のノートのやり取りなどで向上を図る。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30		3	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会で支援内容の説明を行っている。 ・運営規定や利用者負担については冊子を保護者の待機場所に置いている。質問がある時には返答を行っている。 ・利用契約や重要事項の変更など、必要がある場合には説明を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在行っている対応を行うと共に、質問があった際には丁寧に応対していく。
	31		3	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や報告等で保護者の悩みを聞くと共に、対応策についてはその場で答える事が出来ない事については一度持ち帰り、職員間で検討した後に保護者へ返すなどのやり取りを行っている。 ・個別面談、電話相談、メール相談など保護者の利用しやすいツールを用いて支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の悩みに適切に応じられるよう、必要に応じて職員間で検討し返答を行っていく。
	32			<ul style="list-style-type: none"> ・本来はあるが、コロナで自粛しており開催出来ない。 ・開催をしても短時間で終了している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策を講じ、必要な保護者には連携を支援していけるように配置する。
	33		3	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや保護者からの意見を、振り返りの時間に共有し、対応策を考えている。 ・対処や改善については朝の会議で職員間で共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きアンケートや、報告、連絡ノートなどでのやり取りをする事で保護者の意見を把握する。 ・頂いたアドバイスを職員間で吟味し、対応を行っていく。
	34		3	<ul style="list-style-type: none"> ・月始めに園だよりを配布し、月の行事や活動内容を周知できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者がわかりやすい園だよりの作成を行う。
	35		3	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報には鍵の付いた棚に入れて置き、必要な時以外は開けないようにしている。 ・システムは個人の持つパスワードを入力しないと開くことが出来ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で声を掛け合いながら、個人情報を取り扱う意識を高めていく。 ・常に行っている方法が最善かを模索し、職員間で話し合いながら進めていく。
	36		3	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや保護者の様子に合わせて対応を行っている(環境を整理する。カードや文字などの手段で伝える。電話やメールで対応を行うなど)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在行っている情報伝達の方法が最善かを模索していく。
37			3	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護のため、地域の人を招待する事はほぼないが、退所した方を誘って年に2回程お祭りを行っている。現在はコロナのため、行えていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策を行う共に、個人情報保護を意識した上で、地域に開かれた事業運営を行っていく。

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3		<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを回覧で回すと共に、日常で必要な時は閲覧できるように提示し職員間で周知出来るようにしている。 ・防犯に関しては警察官の講習を受けている。 ・保護者が迎えに来る場所に資料を置いてると共に、流行りだす時期に、シラミや食中毒については啓蒙している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを回覧すると共に、新たな情報が入れば、朝の会議で情報を発信し、職員の周知に務める。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月各グループで避難訓練を行っている。 ・行う際にはどのように行動をすればよいか、確認している。 ・反省会で出た事を次回の避難訓練に繋げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、反省会で出たことを次回の改善に繋げる。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待について職員会議や研修で話し合う機会を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、虐待を防止するための意識を、研修や冊子を回覧する事や、会議での話し合いで高めていく。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の対応を確認すると共に、子どもと十分にやり取りを行った上で行う流れになるが、身体拘束はほぼ行っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が身体拘束を行わない関わりを心掛ける。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			<ul style="list-style-type: none"> ・食事の機会がないため、現在は行う機会がない。 ・食事を提供する場面になった場合には指示書に基づいた対応を行う意識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事を提供する場面が出てきた時には指示書に基づいた対応を行っていく。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3		<ul style="list-style-type: none"> ・システムに打ち込み、職員間でいつでも共有出来るようになっている。 ・ヒヤリハットが合った際は朝の会議で共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、システムや朝の会議で、共有することを大切にしてい